



## 2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 オープングループ株式会社 上場取引所 東  
(旧社名 RPAホールディングス株式会社)  
コード番号 6572 URL <https://open-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,783	23.1	164	63.9	44	△49.4	20	△94.7
2024年2月期第1四半期	1,448	4.2	100	—	87	—	384	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 19百万円 (△94.9%) 2024年2月期第1四半期 381百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	0.33	0.33
2024年2月期第1四半期	6.35	6.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	19,519	11,731	60.1
2024年2月期	19,243	11,667	60.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 11,728百万円 2024年2月期 11,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,440	18.1	230	20.9	189	282.5	130	△57.3	2.14
通期	7,200	16.8	650	25.0	570	116.5	360	116.8	5.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	62,235,000株	2024年2月期	62,235,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	1,414,788株	2024年2月期	1,414,788株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	60,820,212株	2024年2月期1Q	60,598,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、個人消費やインバウンド需要の回復、設備投資が拡大するなど、経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、世界的な金融引締めや円安が続く中での中国経済を含む海外景気の下振れリスクや金融資本市場の変動等により、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco（プレスコ）」とともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,783百万円（前年同四半期比23.1%増）、営業利益は164百万円（前年同四半期比63.9%増）、経常利益は44百万円（前年同四半期比49.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同四半期比94.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### インテリジェントオートメーション事業

インテリジェントオートメーション事業においては、「BizRobo!」、「RoboRobo」とともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。引き続き「RoboRobo」の製品開発を中心とした先行投資は継続するも、ライセンス収入の伸長により利益率は改善しました。

その結果、インテリジェントオートメーション事業では、売上高は1,146百万円（前年同四半期比17.4%増）、セグメント利益（営業利益）は108百万円（前年同四半期比98.3%増）となりました。

#### アドオートメーション事業

アドオートメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高が伸長しました。また、取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率が一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。

その結果、アドオートメーション事業では、売上高は437百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は160百万円（前年同四半期比26.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主にその他の流動資産が228百万円増加、売掛金が192百万円増加した一方で、現金及び預金が316百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは主にその他の投資その他の資産が214百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円増加いたしました。これは主に買掛金が339百万円増加、その他の流動負債が408百万円増加した一方で、未払法人税等が171百万円減少、1年内償還予定の社債が100百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円減少いたしました。これは主に社債が125百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に資本剰余金を45百万円計上したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を20百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.1%（前連結会計年度末は60.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,516,731	11,199,893
売掛金	2,420,159	2,612,793
仕掛品	15,826	6,340
その他	420,107	648,830
流動資産合計	14,372,824	14,467,857
固定資産		
有形固定資産	86,108	81,338
無形固定資産		
のれん	266,739	257,415
ソフトウェア	641,415	550,123
ソフトウェア仮勘定	52,041	101,370
その他	72	72
無形固定資産合計	960,268	908,981
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228,547	3,250,376
その他	595,794	810,680
投資その他の資産合計	3,824,341	4,061,056
固定資産合計	4,870,718	5,051,377
資産合計	19,243,542	19,519,235
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,796,076	2,135,195
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	394,000	294,000
1年内返済予定の長期借入金	358,344	358,344
未払法人税等	248,353	76,425
賞与引当金	107,819	68,253
信託型ストックオプション関連損失引当金	17,424	—
その他	1,404,377	1,812,546
流動負債合計	5,826,394	6,244,765
固定負債		
社債	1,084,000	959,000
長期借入金	630,503	549,217
信託型ストックオプション関連損失引当金	34,848	35,248
固定負債合計	1,749,351	1,543,465
負債合計	7,575,745	7,788,230
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,914,618	5,914,618
資本剰余金	6,022,725	6,068,630
利益剰余金	211,894	232,267
自己株式	△494,897	△494,897
株主資本合計	11,654,340	11,720,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,345	8,308
その他の包括利益累計額合計	8,345	8,308
新株予約権	5,110	4,525
非支配株主持分	—	△2,447
純資産合計	11,667,796	11,731,004
負債純資産合計	19,243,542	19,519,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,448,986	1,783,669
売上原価	498,178	656,078
売上総利益	950,808	1,127,591
販売費及び一般管理費	850,266	962,821
営業利益	100,542	164,769
営業外収益		
為替差益	185	—
受取手数料	—	3,989
その他	251	4,734
営業外収益合計	436	8,723
営業外費用		
支払利息	2,268	2,486
支払手数料	2,045	11,405
為替差損	—	1,131
投資事業組合運用損	3,813	5,343
持分法による投資損失	3,765	106,240
その他	1,433	2,532
営業外費用合計	13,326	129,140
経常利益	87,651	44,353
特別利益		
事業譲渡益	76,000	—
投資有価証券売却益	200,252	—
関係会社株式売却益	34,000	—
特別利益合計	310,252	—
特別損失		
投資有価証券評価損	9,980	—
特別損失合計	9,980	—
税金等調整前四半期純利益	387,924	44,353
法人税等	1,119	24,823
四半期純利益	386,805	19,529
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,988	△842
親会社株主に帰属する四半期純利益	384,816	20,372

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	386,805	19,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,772	△37
その他の包括利益合計	△5,772	△37
四半期包括利益	381,032	19,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,044	20,334
非支配株主に係る四半期包括利益	1,988	△842

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェント オー トメー ション 事業	アドオー トメー ション 事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	320,855	411,969	732,824	60,308	—	793,133
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	655,853	—	655,853	—	—	655,853
顧客との契約か ら生じる収益	976,708	411,969	1,388,678	60,308	—	1,448,986
外部顧客への売 上高	976,708	411,969	1,388,678	60,308	—	1,448,986
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,840	11,177	15,017	900	△15,917	—
計	980,548	423,147	1,403,695	61,208	△15,917	1,448,986
セグメント利益又 は損失(△)	54,660	127,205	181,866	△6,650	△74,673	100,542

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△74,673千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリ ジェントオ ートメーシ ョン事業	アドオート メーション 事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	226,334	437,874	664,209	199,230	—	863,439
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	920,230	—	920,230	—	—	920,230
顧客との契約から生じる収益	1,146,564	437,874	1,584,439	199,230	—	1,783,669
外部顧客への売上高	1,146,564	437,874	1,584,439	199,230	—	1,783,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,310	5,728	8,038	1,400	△9,438	—
計	1,148,874	443,603	1,592,478	200,630	△9,438	1,783,669
セグメント利益又は損失(△)	108,365	160,222	268,587	2,283	△106,101	164,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,101千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「ロボットアウトソーシング事業」としていた報告セグメントの名称を「インテリジェントオートメーション事業」に変更しております。また、「ロボットトランスフォーメーション事業」としていた報告セグメントの名称を「アドオートメーション事業」に変更しております。この変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。